



中野の地図

中野の地図、と一口に言ってもその種類は様々です。目的の場所までの道を確認する地図、地形がわかる地図、あるいは行政が発行する地域の情報がわかる地図。近年は WEB 上の地図を利用することが多くなりましたが、本来知りたいことや目的によって参照する地図は異なります。用途に合わせて地図の使い分けができるよう、中野区立図書館（主に中央館）所蔵の地図を大きく 4 つの種類に分けて紹介します。

Q1. 住宅地図を調べる

<p>『ゼンリン住宅地図 東京都中野区』 『航空住宅地図帳 中野区版』 『全住宅案内地図帳 中野区版』 (M8/A)</p>	<p>住宅地図とは、建物名や道路名、そして一軒一軒の居住者名が記載された市区町村ごとの地図を指します。縮尺は 1000~1500 分の 1 と非常に詳しく、様々なサービスに利用されています。また年代の古い住宅地図を参照することで、土地や建物の変遷がわかります。主に株式会社ゼンリンが手掛けた住宅地図を所蔵していますが、1958~1978 年の間は別会社の発行した住宅地図も所蔵しています。</p>
<p>中野区で所蔵する一番古い住宅地図です。住居表示制度が始まる前の地図のため地名が現在と異なり、紙面の上部が北を指しているとも限らないため、読み取りには注意が必要です。住宅地図はこれ以降全ての年が揃っているわけではありませんが、平成 3 年からは毎年所蔵しています。</p>	<p>『東京都全住宅案内図帳 中野区』 住宅協会/編、1958 年 (M8/A)</p>
<p>『中野区全域図』 火災保険特殊地図 都市製図社/作成、1933 年 (M8/A) ※「全域図」とあるが、早稲田通り以南のみ掲載</p>	<p>戦前の住宅地図に準ずる地図として、当時の保険会社が保険料率を算定するために作った「火災保険特殊地図」があります。中野区で所蔵しているものには居住者名の記載がほぼありませんが、当時のランドマークや地番を確認することができます。</p>
<p>ブルーマップとは、住宅地図の上に青字の地番情報が重なった地図のことを言います。「住居表示地番対照住宅地図」の名の通り、住居表示から地番、または地番から住居表示を調べることができる地図です。</p>	<p>『ブルーマップII 中野区』 住居表示地番対照住宅地図 ゼンリン、1987 年~ (M8/A)</p>

Q2. 古い地図を調べる

江戸時代の地図

<p align="center">『堀江家文書』(絵図) 中野区立中央図書館, 1997年 (M8/A)</p> <p>※複製。現物は東京都立大学図書館本館所蔵、コピー不可</p>	<p>武蔵国多摩郡中野村において代々名主をつとめた堀江家伝来の文書で、近世における中野村の実態を知ることができる貴重な資料です。本資料は中野周辺の絵図121点を集めたもので、当時の中野村周辺の村落の様子がかがえます。</p>
<p>江戸時代末期、伊能忠敬が作成した江戸府内の主要な往還沿道やその出入口等を詳細に描いた地図です。町名や村名、寺社名なども記述され、青梅街道沿いに当時の中野村、宝仙寺、鍋屋横町が確認できます。</p>	<p align="center">『日本地図選集』第16巻 伊能忠敬 江戸府内実測図 日本地図選集刊行委員会・人文社編集部/編, 人文社, 1984年 (R291.03/二/16)</p>

明治時代以降の地図

<p align="center">『明治前期測量 2万分1 フランス式彩色地図』東京8 日本地図センター, 1996年 (M8/D/8)</p>	<p>迅速測図とも言い、全国各地で反乱が起こった際に使用する地図として、明治13年から明治19年にかけて陸軍の参謀本部が作成しました。各地の名所が余白に描き込まれており、絵画のような雰囲気をもった地図です。</p>
<p>昭和7年に中野区が誕生する前、まだ「中野町」と「野方町」に分かれていた頃の地図です。「中野町」は1911(明治44)年に発行された地図の復刻版を所蔵しています。両者とも当時の地名(大字)、番地を確認することができます。</p>	<p align="center">『豊多摩郡中野町全図』 東京郵便局, 1991年 (M8/A) ※復刻版</p> <p align="center">『東京府豊多摩郡野方町全図』 豊多摩郡野方町役場, 1929年</p>

！ほかの資料も見てみよう！

書名	著者	出版者	出版年	請求記号
中野町誌 全	中野町教育会/編	中野町	1933	M25/A
中野区詳細図		東京地形社	1941	M8/A
昭和前期日本商工地図集成 第1期	地図資料編纂会/編	柏書房	1987	R291.03/ シ/1
地籍台帳・地籍地図<東京> 第7巻	地図資料編纂会/編	柏書房	1989	E14/D/7
明治前期・昭和前期 東京都市地図2 東京北部	清水靖夫/著	柏書房	1996	M8/D/2
発掘写真で訪ねる中野区・杉並区古地図散歩	中村建治/著	フォト・パブリッシング	2021	M8/A

Q3. 地形図を調べる

地形図は、特定の目的を持たず、広く利用されることを想定された地図の一種です。基本となる地形はもちろん、耕作地、道路や鉄道、集落、自然の植生など、様々な要素が落とし込まれており、地域全体がどういった土地なのかを読み取れるようになっています。中野区立図書館では、複数の縮尺で作成された一枚ものの地形図から、土地の変遷を追えるよう独自に編集した冊子体の地図などを所蔵しています。

<p>『国土地理院 2万5千分の1 地形図』 国土地理院/編</p>	<p>一枚ものの地形図です。基本図と呼ばれる縮尺 2 万 5 千分の 1 の関東地方の地形図と、日本全国の縮尺 5 万 分の 1 地形図を所蔵しています。中野区においては大縮尺の 2500 分の 1 地形図（平成 9 年測量、平成 26 年修正）を所蔵しており、より詳しいものを見ることが出来ます。</p>
<p>国土地理院（前身の参謀本部陸地測量部・内務省地理調査所発行を含む）発行の様々な時代の地形図を、中央図書館が独自に編集した資料です。明治時代から平成初期までの中野区周辺の土地の変遷を追うことができます。縮尺・地域ごとに計 2 冊でまとめられています。</p>	<p>『中野区変遷地形図』 国土地理院/作成、中野区立中央図書館、1994 年 (M25/A)</p>

！ほかの資料も見てみよう！

書名	著者	出版者	出版年	請求記号
明治・大正・昭和 東京 1 万分 1 地形図集成		柏書房	1983	M8/A
帝都地形図 第 3 集	井口悦男/編	之潮	2005	M8/B/3

インターネットからも見てみよう！

○中野区立図書館デジタルアーカイブ

紹介している中野区発行の資料の中には、インターネット上で閲覧可能なものもあります。

<https://archive.nakano-library.jp/>

○なかの便利地図

区内の施設や防災、バリアフリー設備などがテーマごとに閲覧できる、中野区役所が運営する WEB 地図です。

<https://www2.wagmap.jp/nakano/Portal>

○特別区協議会 デジタル古地図

現在の東京 23 区にあたる地域の古地図が閲覧できます。

<https://www.tokyo-23city.or.jp/tokei/kochizu/index.html>

○地理院地図

国土地理院が整備した地図や年代別の空中写真などを、WEB 上で自由にカスタマイズできます。

<https://maps.gsi.go.jp/>



Q4. その他の中野区の地図を調べる

<p>『中野区』東京都区分地図 14 昭文社、2023年 (R291.36/ナ)</p>	<p>「都市地図」と言われる一枚ものの地図です。主要な道路、建造物等が記されており、中野区の全体像や位置関係を知りたい時に便利です。付録の町名施設索引を使って、目的の場所を検索することもできます。</p>
<p>いざという時に適切な行動がとれるよう、避難場所や危険地域、水害時の浸水深がわかる地図です。さらに日頃の備えや避難方法についてもまとめており、防災を意識したらず参考にする資料です。</p>	<p>『中野区ハザードマップ 保存版』 中野区役所総務部危機管理課/編、2020年 (F72/A)</p>
<p>『中野区用途地域・地区、日影規制指定図 及び東京都建築安全条例 第1条の3第1項に基づく区域図』 中野区都市基盤部都市計画課/編、2020年～ (M8/A)</p>	<p>都市計画法に基づき、土地の利用方法を定めた用途地域が一目でわかる地図です。中野区内で住宅含め建物を建てる場合、実際にその場所に建てられるのか、大きさや高さ制限はないかなどが確認できます。</p>
<p>文字資料の中に簡易な地図が掲載されていることがあります。この資料では、中央図書館所蔵の住宅地図では調べられない、昭和32年当時の中野区内の商店街の見取り図(p.202～208)が載っています。</p>	<p>『中野区民生活史』第3巻 中野区民生活史編集委員会/編、中野区、1985年 (M25/A/3)</p>

！ほかの資料も見てみよう！

書名	著者	出版者	出版年	請求記号
中野区ウォーキングマップ		中野区健康福祉部健康推進分野健康企画担当	2018	N65/A
なかのユニバーサルデザインマップ	なかの生涯学習サポーターの会/編	なかの生涯学習サポーターの会	2023	N65/A
中野の防災 地震に備える	中野区地域防災係 / [編]	中野区	2023	F77/A/23

🌱 地図の豆知識

今回は中野区立図書館で使用頻度の高い地図について解説しましたが、他にも海図、地質図など数多くの地図が存在し、利用方法も異なります。そんな地図そのものについて知るために、以下のような資料が参考になります。

地図はどのようにして作られるのか	山岡光治/著	ベレ出版	2013	448.9/ヤ
地図入門	今尾恵介/著	講談社	2015	448.9/イ
地図の事典	日本地図学会/編	朝倉書店	2021	R448.9/チ